



岐阜労働局発表
令和3年7月5日(月)

報道関係者各位

担当	労働基準部 健康安全課 課長 中野 正樹 地方産業安全専門官 勝股 光悦 電話 058-245-8103
----	---

岐阜労働局長が製造現場の安全パトロールを実施

— 全国安全週間準備期間に労働災害防止を呼びかける —

岐阜労働局(局長 畑 俊一)は、全国安全週間の準備期間中(6/1~30)の6月 25 日に労働局長による事業場への安全パトロールを行い、労働災害防止の呼びかけを行いました。

本年の岐阜県内における休業 4 日以上労働災害は、5 月末現在で前年に比べ大幅増加しており、死亡者数は前年同期の 2 倍となり、製造業では 3 倍となっています。休業4日以上の死傷者数は、5月末現在で前年同期の約1.5倍となっています。

このような状況のなか、製造業の工場に対して安全パトロールを実施し、死亡災害撲滅等に向けた取組を働きかけ、事業場の安全活動の定着に向けて気運を高めました。

1 実施日時

令和3年6月 25 日(金) 13 時 30 分から 16 時 30 分まで

2 パトロール先事業場

- (1)事業場名 川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー
- (2)所在地 各務原市川崎町1番地
- (3)事業の概要 航空機器等の製造等

3 全国安全週間について

昭和3年から、産業界の自主的な労働災害防止活動の推進と広く一般国民の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的として、一度も中断することなく実施されているので、今年で 94 回目となります。

本週間 7月1日から7月7日まで 準備期間 6月1日から6月30日まで

スローガン 「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」



パトロールの様子(左端が畑局長)



パトロールの様子(左から4人目が畑局長)



パトロール後の講評の様子